

## 医療アートメイク同意書/注意事項説明書

医療アートメイクとは（平成 13 年 11 月 8 日厚生労働省医政医発第 105 号に準ずる医療行為）

医療アートメイクとは、皮膚の真皮上層部から中層部に、専用の極細針を用いて人体に安全な色素を刺入/着色する施術のことを言います。持続性のある「落ちにくいメイク」とも呼ばれ、主に眉・アイライン・口唇に施し、一度皮膚に色素を入れると、個人差はありますが年単位で保たれます。染色後、一定期間が経過すると色調が徐々に薄くなっていきますが、色素の補充や修正により再現することが可能です。日本では、法改正により医療機関でのみ行うことが認められた医療行為とされています。

経過

施術部位は、3～5 日程度で痂皮化（かさぶた）し、1 週間ほどで少しずつ剥がれていきます。施術直後は色調が濃く発色しますが、徐々に薄くなります。染色された色素は、時間の経過により変色・退色していきませんが、完全に消えてなくなることはありません。

初回の施術の場合、色素の定着を安定/持続させるためには、4 週間前後の期間を空け、2～3 回の施術を繰り返すことを推奨しています。（皮膚の代謝や色素の定着には個人差があり、中には全く定着しない方もいます。その場合も複数回の施術をお勧めします。）

施術によるリスク

【一時的な症状】腫れ・出血・内出血・発赤・熱感・しびれ・痂皮化/痂皮脱落・脱毛等

【アレルギー】薬剤/金属/色素/ゴム/局所麻酔（リドカイン、キシロカイン等）/その他使用する備品によるアレルギー

※アレルギー反応/症状が出現した場合は、施術を中断しアレルギー治療を優先します。（金属アレルギーが心配な場合は、事前にアレルギー検査を行うことをお勧めします。当院では検査を行っておりません。）

【合併症】ヘルペス・感染症・肥厚性瘢痕・ケロイド・肉芽・肉芽腫・皮膚障害・膜損傷・血管閉鎖・陥没・感覚機能の低下・ドライアイ・化学物質過敏症等

【色素の定着に関する事項】左右差・不均等・色ムラ・退色/変色・形状の変化等

禁忌または適応注意

\* 妊娠中・妊娠の可能性のある方・授乳中の方

\* 持病や上記リスクに該当するアレルギーがある場合やアレルギー体質の方

\* 脳梗塞や肺塞栓によりワーファリンやバイアスピリン等の抗凝固薬・抗血栓薬を服用している方

\* 局所麻酔（リドカイン、キシロカイン等）でアレルギー・アナフィラキシー反応を起こした方

\* ケロイド体質の方

\* B 型肝炎、C 型肝炎、血友病等、何かしらの感染症をお持ちの方（確認のための血液検査をさせて頂く場合があります）

\* 飲酒をされている方

\* メスを使用した美容整形手術を受けて 3 か月以内の方

\* その他、医師により施術ができないと判断された方

【主治医に許可を得た場合のみ可】\* 主治医による確認書または意見書等をご持参ください

\* 長期的にステロイドを内服している方

\* 糖尿病を患っている方。特にインシュリンを投与されている方

\* 全身疾患で特別な治療を受けている方

注意事項

\* 感染予防のため 3 日間は朝夕に処方軟膏を使用し、その後はワセリン等で保湿をしてください。

\* 痛みや腫れがある場合は施術部位を冷やしてください。

\* 腫れ・出血・かゆみ・赤み等の症状が続いたり、異常を感じた場合は当院へ連絡ください。

\* かさぶたは自然に剥がれるのを待ち、無理に剥がしたりしないように注意してください。

\* 当日の激しい運動、サウナ、入浴（シャワーは可）、飲酒、施術部位のメイクはお控えください。

\* 洗顔は当日から可能ですが、痛みや腫れが治まるまでは創部を擦らないようにしてください。

\* 治療前後 1 か月程度は日焼けに注意してください。また退色/変色予防のため、日頃から UV ケアを行うように心がけてください。

\* レーザー治療やダーマペン、ピーリングなどの美容施術は、2 週間はお控えください。

その他

- \* 骨格や噛み癖、筋肉の使い方により表情も常に変化するため、左右を均等に揃えるには限界があります。
- \* 施術による仕上がりや必要な回数には個人差があること、また 100%の仕上りを約束するものではないことを予めご了承ください。
- \* 施術前のデザインと仕上りのイメージに相違が出ることがあります。
- \* 施術部位によりダウンタイムが長引く場合があります。
- \* 骨格等の個人の性質を無視した要望や、過度なご要望には添えない場合があります。
- \* 他院にて施されたアートメイクの修正は、場合によりお断りさせていただく場合があります。
- \* 心療内科・精神科に通院中の方は、医師の判断で施術をお断りさせていただく場合があります。
- \* 一度施術を行うと、施術前の状態に完全に戻すことはできません。

【眉】

- \* 1本1本毛流を描くストローク技法(4D)で施術をした場合、経過とともに滲んで線が太く見えたり、線が途切れたり、グラデーションで施したように変化して見えることがあります。
- \* レーザートーニング等の色素に反応する治療を受ける際は、施術箇所を照射しないように注意が必要です。

【アイライン】

- \* 目尻を伸ばしたテール付きデザインは、肌質・皮膚の弾力・目の形などにより左右差を生じる場合があります。
- \* インライン(目の生え際の粘膜の部分)、アイライン下への染色はお断りしています。
- \* 毛細血管の位置を肉眼で確認することはできないため、特に目頭・目尻については、色素が血管内に流入し滲んだように見えることがあります。
- \* まつ毛エクステを装着する場合は、アイライン施術後1週間は空けるようにしてください。

【リップ】

- \* オーバーリップ(ご自身の口唇よりも大きく染色する場合は)基本的にお断りしています。
- \* 口唇にくすみがある場合、色素を染色することでくすみ表面化し黒く発色する場合があります。
- \* 施術当日は、創部に雑菌が入らないように飲み物はストローを使用して、食べ物が直接唇に触れないように気を付けてください。カップサイシン等の辛い食べ物、刺身等の生ものは刺激の増強や感染を起こす可能性があるため、施術後3日間は摂取をお控えください。
- \* 体質や体調により、施術後4~5日経過するとヘルペスを発症する場合があります。発症した場合は受診をお勧めしています。発症から48時間以内に特定の抗ウイルス薬を内服していただくと回復が早まりますが、発症後は十分な休養をとるようにしてください。
- \* 内出血や色素沈着が残る可能性があります。痛みやしびれ、違和感が継続したり、残る場合があります。

【ホクロ】

- \* レーザートーニング等の色素に反応する治療を受ける際は、施術箇所を照射しないように注意が必要です。

【MRIについて】

近日中にMRI撮影を受ける予定のある方は、カウンセリングの際に必ずお申し出ください。  
医療アートメイクを行った後に当該部位のMRI撮影を行う場合、可能性としては稀ですが、色素に含まれる微量な金属片が反応し、熱感/熱傷を起こす可能性があります。引き続き検査を受ける際には、念のため主治医および放射線技師に医療アートメイクが施された箇所をお伝えください。

貴院で医療アートメイク施術を受けるにあたり、カウンセリングにより施術及び注意事項について十分な説明を受け、納得し、実施を承諾いたします。

尚、この書面上の私の署名は、私の自由意思によって行うものであり強制されたものではありません。

西暦 20 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

〒440-0011 愛知県豊橋市牛川通1丁目21-7

佐藤脳神経外科

TEL0532-69-2760